

## 議会運営委員会次第

平成25年7月3日(水)

午前9時～ 議長応接室

開会【9:00】

- 1 平成25年第2回定例会の運営について【9:00～9:30】
  - (1) 追加議案について
  - (2) 議事日程について
  - (3) 電子採決に関する留意事項について
  - (4) 請願・陳情の採決方法について
  - (5) 人権擁護委員の選任について
  - (6) 「千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙」について
  - (7) 意見書等の取り扱いについて
  - (8) 本日の開会前の日程について
- 2 発議案「慰安婦発言を非難し、撤回を求める決議について」に対する質疑通告書の件について【9:30～10:15】
- 3 その他【10:15～10:30】
  - (1) 平成25年第3回定例会の会期日程について
  - (2) その他

閉会【10:30】

## 平成 2 5 年流山市議会第 2 回定例会日程表（第 6 号）

平成 2 5 年 7 月 3 日  
午 後 1 時 開 議

- 第 1 議案第 4 9 号 平成 2 5 年度流山市一般会計補正予算（第 3 号）
- 議案第 5 0 号 流山市福社会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 5 1 号 流山市平日夜間・休日診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 5 2 号 流山市公民館並びに市民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 5 3 号 流山市運河駅施設整備基金条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 5 4 号 市道路線の認定について
- 議案第 5 5 号 区域を越える野田市道路線の廃止に関する承諾について
- 議案第 5 6 号 財産の取得について（（仮称）新市街地地区小中学校併設校等用地）
- 議案第 5 7 号 財産の取得について（（仮称）新市街地地区小中学校併設校校舎等）
- 請願第 2 号 年金の 2. 5 %引き下げの中止を求める意見書に関する請願書
- 陳情第 3 号 T P P 交渉参加に関する意見書の提出を求める陳情書
- 陳情第 4 号 老朽化した公立学校の調査と対策に関する陳情書
- 陳情第 5 号 小中併設校建設について、十分な説明会の開催等を求める陳情書
- 陳情第 6 号 小中学校併設校建設は、市民の合意を大切に、慎重な審議を求める陳情書

- 陳情第7号 「国における平成26(2014)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書
- 陳情第8号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書
- 陳情第9号 小中併設校建設について、市議会における慎重な審議を求める陳情書  
(委員長報告・質疑・討論・採決)
- 第2 議案第60号 人権擁護委員の推薦について  
(議案上程・提案理由説明・採決)
- 第3 千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
- 第4 発議第12号 慰安婦発言を非難し、撤回を求める決議について  
(議案上程・提案理由説明・質疑・討論・採決)
- 第5 発議第13号 放射能被ばくに対する子ども・妊婦の甲状腺等専門検査の実施などを求める意見書について  
(議案上程・提案理由説明・質疑・討論・採決)
- 第6 発議第14号 「共通番号制(マイナンバー)」法の廃止を求める意見書について  
(議案上程・提案理由説明・質疑・討論・採決)
- 第7 発議第15号 人間らしい労働を奪う規制緩和はやめるよう求める意見書について  
(議案上程・提案理由説明・質疑・討論・採決)
- 第8 所管事務の継続調査について

平成25年流山市議会第2回定例会

委員会審査報告書  
(7月3日分)

流山市議会

平成25年6月26日

流山市議会議長 海老原 功一 様

総務委員長 松田 浩三

## 総務委員会審査報告書

平成25年流山市議会第2回定例会において、本委員会に付託された事件は、審査の結果次のとおり決定したので、会議規則第110条の規定により報告します。

## 記

番 号	件 名	審査結果	備 考
議案第49号	平成25年度流山市一般会計補正予算(第3号)	可 決	5 対 1
議案第56号	財産の取得について((仮称)新市街地地区小中学校併設校等用地)	可 決	5 対 1
議案第57号	財産の取得について((仮称)新市街地地区小中学校併設校校舎等)	可 決	5 対 1
陳情第6号	小中学校併設校建設は、市民の合意を大切に、慎重な審議を求める陳情書	不採択	1 対 5

平成25年6月25日

流山市議会議長 海老原 功一 様

教育福祉委員長 森 亮二

## 教育福祉委員会審査報告書

平成25年流山市議会第2回定例会において、本委員会に付託された事件は、審査の結果次のとおり決定したので、会議規則第110条の規定により報告します。

## 記

番 号	件 名	審査結果	備 考
議案第50号	平成25年度流山市介護保険特別会計予算	可 決	全会一致
議案第51号	平成25年度流山市後期高齢者医療特別会計予算	可 決	全会一致
議案第52号	平成24年度流山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可 決	全会一致
陳情第4号 第1項	老朽化した公立学校の調査と対策に関する陳情書	採 択	全会一致
陳情第4号 第2項	老朽化した公立学校の調査と対策に関する陳情書	採 択	全会一致
陳情第4号 第3項	老朽化した公立学校の調査と対策に関する陳情書	不採択	2 対 4
陳情第4号 第4項	老朽化した公立学校の調査と対策に関する陳情書	不採択	2 対 4

番 号	件 名	審査結果	備 考
陳情第5号 第1項	小中併設校建設について、十分な説明会の開催等を求める陳情書	不採択	2 対 4
陳情第5号 第2項	小中併設校建設について、十分な説明会の開催等を求める陳情書	不採択	2 対 4
陳情第5号 第3項	小中併設校建設について、十分な説明会の開催等を求める陳情書	採 択	全会一致
陳 情 第 7 号	「国における平成26（2014）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書	採 択	全会一致
陳 情 第 8 号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書	採 択	全会一致

平成25年6月24日

流山市議会議長 海老原 功一 様

市民経済委員長 松尾 澄子

## 市民経済委員会審査報告書

平成25年流山市議会第2回定例会において、本委員会に付託された事件は、審査の結果次のとおり決定したので、会議規則第110条の規定により報告します。

## 記

番 号	件 名	審査結果	備 考
請 願 第 2 号	年金の2.5%引き下げの中止を求める意見書に関する請願書	不採択	1 対 5
陳 情 第 3 号	TPP交渉参加に関する意見書の提出を求める陳情書	不採択	2 対 4

平成25年6月27日

流山市議会議長 海老原 功一 様

都市建設委員長 乾 紳一郎

## 都市建設委員会審査報告書

平成25年流山市議会第2回定例会において、本委員会に付託された事件は、審査の結果次のとおり決定したので、会議規則第110条の規定により報告します。

## 記

番 号	件 名	審査結果	備 考
議案第53号	流山市運河駅施設整備基金条例を廃止する条例の制定について	可 決	全会一致
議案第54号	市道路線の認定について	可 決	全会一致
議案第55号	区域を越える野田市道路線の廃止に関する承諾について	可 決	全会一致

平成25年6月28日

流山市議会議長 海老原 功一 様

議会運営委員長 根本 守

## 議会運営委員会審査報告書

平成25年流山市議会第2回定例会において、本委員会に付託された事件は、審査の結果次のとおり決定したので、会議規則第110条の規定により報告します。

## 記

番 号	件 名	審査結果	備 考
陳情第9号	小中併設校建設について、市議会における慎重な審議を求める陳情書	不採択	1 対 6

発議第 1 2 号

慰安婦発言を非難し、撤回を求める決議について

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第 1 4 条第 2 項の規定により提出します。

平成 2 5 年 7 月 3 日 提出

提出者

議会運営委員長 根本 守

慰安婦発言を非難し、撤回を求める決議

去る、5月13日大阪市役所における記者会見で橋下徹大阪市長は「第二次世界大戦当時は慰安婦制度が必要だった」との発言をし、その後も同様の発言を繰り返している。

かかる行為は、慰安婦として従事された女性の人権を損なうばかりでなく、我が国の世界における信用を失墜させるものである。

よって、橋下市長の発言を非難するとともに、その撤回を求める。

以上、決議する。

平成25年7月3日

千葉県流山市議会

発議第13号

放射能被ばくに対する子ども・妊婦の甲状腺等専門検査の実施などを求める意見書について

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成25年7月3日提出

提出者

流山市議会議員 小田桐 仙

賛成者

流山市議会議員 植田 和子

〃 徳増 記代子

〃 乾 紳一郎

## 放射能被ばくに対する子ども・妊婦の甲状腺等専門検査の実施などを求める意見書

平成23年3月、東京電力福島第一原子力発電所での事故により、大量の放射性物質が放出され、茨城県、千葉県北西部、埼玉県南東部でも『放射能ホットスポット』となり、放射性物質汚染対処特措法に基づく『汚染状況重点調査地域』に指定された。

6月5日に福島県が開催した「県民健康管理調査検討委員会」によれば、原発事故時に0歳から18歳だった子どもを対象に実施されている福島県による甲状腺検査で、これまでに12人が甲状腺がん、その他15人が甲状腺がんの疑いがあると診断された。

原発事故による放射性物質の放出等が疾病に起因するかどうかは、専門家でも意見が分かれるが、「一般的に小児甲状腺がんの発生は100万人当たり1～3人程度」とされてきたことと比較すれば、罹患率は数十倍から数百倍と報道されている。

小児甲状腺がんは、早期発見で治療できる疾病であること、なによりもわが子の健康・安全を願う保護者の心痛な願いを考慮すれば、政府として、広範囲で継続した健康調査を実施し、早期発見・早期治療を徹底すべきである。これは、憲法第25条第2項「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」という公衆衛生の原則にそったものである。

そこで以下に示す施策実施を政府に強く求める。

## 記

- 1 茨城県、千葉県北西部、埼玉県南東部の子どもや妊婦に対し、甲状腺や血液、尿等の専門検査等健康管理調査を定期的に継続して実施すること。
- 2 検査結果は被ばく量、所見を含む全てのデータを受検者または保護者へ公開すること。
- 3 全会派共同提案・全会一致の議員立法により昨年6月に国会で成立した『原発事故子ども・被災者支援法』の基本方針策定については、放射性物質汚染対処特措法に基づく『汚染状況重点調査地域』を含めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2013年7月3日

衆議院議長	伊吹	文明	様
参議院議長	平田	健二	様
内閣総理大臣	安倍	晋三	様
財務大臣	麻生	太郎	様
総務大臣	新藤	義孝	様
法務大臣	谷垣	禎一	様
厚生労働大臣	田村	憲久	様
経済産業大臣	茂木	敏充	様
環境大臣	石原	伸晃	様
内閣府特命担当大臣 (少子化対策) (男女共同参画)	森	雅子	様

千葉県流山市議会

発議第 1 4 号

「共通番号制（マイナンバー）」法の廃止を求める意見書について

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第 1 4 条第 1 項の規定により提出します。

平成 2 5 年 7 月 3 日 提出

提出者

流山市議会議員 乾 紳一郎

賛成者

流山市議会議員 植田 和子

〃 徳増 記代子

〃 小田桐 仙

## 「共通番号制（マイナンバー）」法の廃止を求める意見書

5月24日の参議院本会議で可決・成立した共通番号制（マイナンバー）法は、法曹界や研究者、市民団体から繰り返し、法案に対する費用対効果や情報流出の危険性、国民のメリットなどへの疑問が出ていたにもかかわらず、明確な説明もないまま、拙速な採決を行なったことは誠に遺憾である。

国会論議の中では、①初期投資に3000億円、稼働費用に300億円を見込みながら、その費用対効果の根拠が示せない。②情報漏えいや「なりすまし」犯罪への有効な対策がないまま、施行3年後には民間にも開放しようとしており、極めて危険である。③国民にはさしたるメリットがない一方で、社会保障給付の抑制、税や保険料等の徴収強化に利用されることが明らかになった。

同じ制度を導入した米国や韓国では、情報漏えいや「なりすまし」犯罪が多発し、見直しが迫られているものである。これでは、国民の個人情報保護など二の次で、莫大な国民の税金を注ぎ込み、国民を管理・把握するための大型公共事業を実施するものとなる。

よって、本市議会は国に対し、「共通番号制（マイナンバー）」法は廃止するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年7月3日

衆議院議長	伊吹	文明	様
参議院議長	平田	健二	様
内閣総理大臣	安倍	晋三	様
総務大臣	新藤	義孝	様

千葉県流山市議会

発議第 15 号

人間らしい労働を奪う規制緩和はやめるよう求める意見書について

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出します。

平成 25 年 7 月 3 日提出

提出者

流山市議会議員 乾 紳一郎

賛成者

流山市議会議員 植田 和子

〃 徳増 記代子

〃 小田桐 仙

## 人間らしい労働を奪う規制緩和はやめるよう求める意見書

安倍晋三政権のもとで、労働・雇用分野の規制緩和が議論されている。その内容は、解雇の自由化、労働時間の規制緩和と適用除外制度の導入、有期雇用や派遣労働の規制緩和など、労働者保護の根幹を破壊するものである。

財界と政府は、「経済のグローバル化」のもとで「国際競争力の強化」が必要との理由から、「構造改革路線」を強行し、労働・雇用分野での規制緩和を進めてきた。その結果、今では非正規雇用は全体の38.7%（厚労省調査）を占め、年収200万円以下の労働者が1000万人を超える事態となっており、多くの労働者の雇用・将来不安や長時間労働、低賃金が現在の「デフレ不況」や経済の疲弊を作り出している大きな要因となっているのである。

「デフレ不況」からの脱却や経済活性化のためには、雇用への支援策強化が求められているときに、企業の思惑だけで「解雇自由の原則」を法に明記、事務・研究開発職の「残業代ゼロ法」（ホワイトカラー・エグゼンプション）の導入、有期雇用や派遣労働に対する規制をなくすなどの議論がされているのは、乱暴で不公平なものである。

国連のILO（国際労働機関）は、ディセントワーク（人間らしい労働）の実現を各国政府に求めている。しかし、それと対極にあるのが日本の雇用形態である。労働者を保護する労働基準法を拡充し、安定した雇用と賃上げによる労働者の所得アップこそ必要とされているのである。

よって、本市議会は国に対し、人間らしい労働を奪う規制緩和はやめるよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年7月3日

衆議院議長	伊吹	文明	様
参議院議長	平田	健二	様
内閣総理大臣	安倍	晋三	様
厚生労働大臣	田村	憲久	様

千葉県流山市議会

平成 2 5 年流山市議会第 3 回定例会会期日程表 (案)  
(平成 2 5 年 7 月 3 日議会運営委員会用)

月 日	曜日	内 容	月 日	曜日	内 容		
9 月 5 日	木	本会議午後 1 時開議 1 会議録署名議員の指名 2 会期の決定 3 議案第 号から議案第 号 報告第 号から報告第 号 (議案上程・提案理由説明及び報告) 4 休会の件	1 6 日	月	休 会 (敬老の日)		
			1 7 日	火	休 会 (総務常任委員会)		
			1 8 日	水	休 会 (教育福祉常任委員会)		
			1 9 日	木	休 会 (市民経済常任委員会)		
			2 0 日	金	休 会 (都市建設常任委員会)		
			2 1 日	土	休 会 (議案研究)		
			2 2 日	日			
			2 3 日	月	休 会 (秋分の日)		
6 日	金	休 会 (議案研究)	2 4 日	火	休 会 (議案研究)		
7 日	土		2 5 日	水	休 会 (決算審査特別委員会)		
8 日	日		2 6 日	木	休 会 (決算審査特別委員会)		
9 日	月		2 7 日	金	休 会 (決算審査特別委員会)		
1 0 日	火		本会議午前 1 0 時開議 1 市政に関する一般質問	2 8 日	土	休 会 (議案研究)	
			2 9 日	日			
1 1 日	水	本会議午前 1 0 時開議 1 市政に関する一般質問	3 0 日	月	休 会 (決算審査特別委員会)		
1 2 日	木	本会議午前 1 0 時開議 1 市政に関する一般質問	1 0 月 1 日	火			
			2 日	水		休 会 (総合調整)	
1 3 日	金	本会議午前 1 0 時開議 1 市政に関する一般質問 2 議案第 号から議案第 号 (質疑・委員会付託) 3 議案第 号 (質疑・特別委員会設置・委員会付託・委員の選任) 4 請願・陳情の件 (委員会付託) 5 休会の件	3 日	木	休 会 (総合調整)		
			4 日	金	休 会 (総合調整)		
			5 日	土	休 会 (総合調整)		
			6 日	日			
			7 日	月	休 会 (総合調整)		
					本会議午後 1 時開議 1 議案・陳情 (委員長報告・質疑・討論・採決) 2 議案 (委員長報告・質疑・討論・採決) 3 発議上程 (提案理由説明・質疑・討論・採決) 4 所管事務の継続調査の件	8 日	火
			1 4 日	土		休 会 (議案研究)	
1 5 日	日	休 会 (議案研究)					

8 月 2 7 日 (火)	全議員に対する議案説明会、全員協議会【午後 1 時 3 0 分～】
8 月 2 9 日 (木)	平成 2 5 年第 3 回定例会招集告示
8 月 3 0 日 (金)	一般質問通告受付【午前 8 時 3 0 分～午後 5 時 1 5 分】
9 月 2 日 (月)	一般質問通告受付【午前 8 時 3 0 分～正午】
9 月 3 日 (火)	議会運営委員会【午前 1 0 時～】
9 月 1 3 日 (金)	議会運営委員会【午前 9 時～】
1 0 月 8 日 (火)	議会運営委員会【午前 1 0 時～】